

中干し・溝切りをしよう

～適期中干しで品質向上～

今年は稲の初期生育が悪く、平年より生育が遅れています。しかし、今後気温が高くなると莖数は急速に増加します。生育後半に発生した軟弱な莖は、良質な米を作ることができず、品質の低下に繋がります。中干し・溝切りは適期に行いましょう。

また、安易な中間追肥は絶対にやめましょう。

【管理のポイント】

1 中干しは適期に行う

○開始時期

連休田植えは6月10日頃がめやす(田植え後35日頃)

※今年は植込み本数が多いため、遅れないように注意する

☆現在の生育と中干し実施のめやす

品種	連休植え	指標値	中干し開始	50株植	60株植
	5/25調査		めやす	株当り莖数	株当り莖数
	莖数(本/㎡)	(本/㎡)	莖数(本/㎡)	(本/株)	(本/株)
コシヒカリ	63	116	270	18	15
こしいぶき	82	118	320	—	18

○中干し(程度)

- ・田面に小ヒビが入り、軽く足跡がつく程度まで行う。
- ・地力が高く、稲が大型化しやすいほ場では、特に早め・強めに行う。

2 溝切りは必ず行いましょう。

○溝切り方法

- ・落水し、軽く地固めをして行う。
- ・8～10条おき、深さ10cmにしっかり切る。
(溝は登熟期の水管理にも利用)

3 中干し後は間断かん水

- ・中干し後は田面が湿った状態を維持するよう適宜かん水し、地耐力の維持と水分補給に努める。

◆◆ 水田周囲も「環境にやさしい稲作」 「みどりの畦畔づくり運動」展開中 ◆◆
「みどりの畦畔づくり」で消費者・卸業者へ安全な生産地をアピール！
作付け期間中は水田畦畔への除草剤散布は控え、草刈りで対応しましょう。

◆お知らせ◆

「巻普及センターテレホンサービス」放送中！
今年も4～8月までの期間 稲作情報を提供します
電話：0256-72-0948 終日お聴きいただけます。